



東京消防庁災害時支援ボランティア

ボランティア通信

【第144号】



防災シンポジウムで寸劇を披露！

東村山消防ボランティア



阪神・淡路大震災から30年という節目の時期を捉え、令和7年2月15日（土）NP
O法人主催の防災シンポジウムに参画し「災害！備えどうする？起きたらどうする？」を
テーマに劇場型防災講話を実施しました。

東村山災害時支援ボランティアの皆さんは、講話内で行われた寸劇に参加し、大地震が
起きた時及び平常時の動きを披露していました。講話の最後では、広報動画を活用し、満
員御礼の会場の中で共に活動する仲間を募集しました。

また、ホールの外に設けられた体験コーナーにおいては、多くの来場者に心肺蘇生法や
包帯法を指導し、持っている知識や技術を遺憾なく発揮していました。

参加したボランティアからは、「地域の防災リーダーとしての意識が高まった。または
是非参加したい。」と前向きな意見を頂けました。

